



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月6日  
東

上場会社名 株式会社第一興商 上場取引所  
 コード番号 7458 URL <http://www.dkkaraoke.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 保志 忠郊  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小林 成樹 (TEL) 03 (3280) 2151  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	69,022	0.3	10,776	10.7	11,474	14.6	7,373	75.4
29年3月期第2四半期	68,821	△2.2	9,739	△1.7	10,012	△6.7	4,203	△35.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 7,568百万円(12.0%) 29年3月期第2四半期 6,759百万円(68.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	129.16	129.04
29年3月期第2四半期	72.98	72.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	186,845	122,527	64.8
29年3月期	186,954	119,069	62.9

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 121,028百万円 29年3月期 117,574百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	54.00	—	55.00	109.00
30年3月期	—	55.00			
30年3月期(予想)			—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	141,200	0.4	20,800	0.5	21,300	△5.5	13,100	17.9
								229.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期2Q	57,234,200株	29年3月期	57,434,200株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	266,168株	29年3月期	303,168株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期2Q	57,093,654株	29年3月期2Q	57,596,885株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年9月30日、以下「当第2四半期」という)におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調にあるものの、中国をはじめとするアジア諸国経済の景気減速や地政学的リスクの高まりなど、依然として不透明な状況で推移いたしました。

当カラオケ業界におきましては、ナイト市場は依然として漸減傾向で推移しており、また、カラオケボックス市場においても大手事業者間の競争が激しさを増すなか、市場は僅かながら減少いたしました。一方、エルダー市場においては、「歌うこと＝健康」の認知が拡がり、市場は順調に拡大いたしました。

この様ななか、各事業におきまして諸施策を実施した結果、当第2四半期の売上高は69,022百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益は10,776百万円(同10.7%増)、経常利益は11,474百万円(同14.6%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、特別損益が改善したことにより、7,373百万円(同75.4%増)となりました。なお、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は過去最高となっております。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売 上 高	68,821	69,022	201	0.3%
営 業 利 益	9,739	10,776	1,037	10.7%
経 常 利 益	10,012	11,474	1,461	14.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,203	7,373	3,170	75.4%

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(業務用カラオケ)

当事業におきましては、安定収益の柱と位置付ける機器賃貸を中心に、カラオケ機器稼働台数の拡大に注力いたしました。その結果、成長が続くエルダー市場で民間施設に加え自治体施設への導入施策が奏功し、稼働台数の増加を実現しております。また、10月にはフラッグシップ新商品「LIVE DAM STADIUM STAGE」を発売しております。

以上の結果、機器賃貸収入及び情報提供料収入は増加したものの、新商品発売前の買い控えの影響もあり商製品販売が減少し、売上高は前年同期比4.2%の減収となりました。利益面におきましては、機器賃貸収入及び情報提供料収入の増加と、昨年計上した「平成28年熊本地震」に伴う復旧支援費用や営業資産の買取りコストなどの一時費用が減少したことにより、営業利益は前年同期比2.2%の増加となりました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売 上 高	33,521	32,107	△1,414	△4.2%
営 業 利 益	7,721	7,888	167	2.2%

(カラオケ・飲食店舗)

当事業におきましては、店舗サービス品質の向上に注力し、人材の確保、教育の強化に努めるほか、店舗リニューアルや既存業態のブラッシュアップなどに取り組んでまいりました。また、6月には首都圏を中心に「カラオケマック」40店舗をチェーン展開する株式会社Airsideの全株式を取得し子会社化しております。

以上の結果、既存店が好調に推移したことに加え、子会社化した株式会社Airsideの収益が寄与したことにより、売上高は前年同期比6.7%の増加、営業利益におきましては、前年同期比26.3%の増加となりました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	27,083	28,907	1,824	6.7%
営業利益	2,824	3,566	742	26.3%

(音楽ソフト)

当事業におきましては、業務用通信カラオケ事業をはじめとしたグループネットワークの活用、連携強化による相乗効果と業務の効率化に注力いたしました。また、積極的に新人アーティストの発掘とヒット曲の創出に努めてまいりましたが、事業環境は依然厳しい状況で推移しております。

以上の結果、売上高が前年同期比10.4%減少したことにより3百万円の営業損失となりました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	4,490	4,022	△467	△10.4%
営業利益	76	△3	△80	—

(その他)

当事業におきましては、BGM放送事業において光回線を活用したBGM放送サービス「スターデジオ光」とコンシューマー向けストリーミングカラオケサービスの拡販に努めるほか、不動産賃貸、パーキング事業などが堅調に推移いたしました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	3,726	3,984	258	6.9%
営業利益	778	784	6	0.8%

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ109百万円減少し、186,845百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では、現金及び預金が12,487百万円減少し、有価証券が5,168百万円及びたな卸資産が1,066百万円それぞれ増加しております。

固定資産では、カラオケルーム及び飲食店舗設備が1,105百万円、土地が1,029百万円、有形固定資産のその他に含まれる建物及び構築物が687百万円及びのれんが3,303百万円それぞれ増加しております。なお、のれんの増加につきましては、株式会社Airsideの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことによるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ3,566百万円減少し、64,318百万円となりました。

これは主に、流動負債の1年内償還予定の社債を3,500百万円償還したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ3,457百万円増加し、122,527百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加7,373百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少3,142百万円及び自己株式の取得による減少1,001百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ7,313百万円減少し、53,941百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。  
(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純利益が11,401百万円、減価償却実施額が7,328百万円及び法人税等の支払額が2,939百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ515百万円減少し、14,296百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出が6,638百万円、無形固定資産の取得による支出が1,875百万円、子会社株式の取得による支出が5,142百万円等により前年同四半期連結累計期間に比べ5,284百万円増加し、13,951百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、社債の償還による支出が3,500百万円、配当金の支払額が3,141百万円、自己株式の取得による支出が1,001百万円、長期借入金の返済による支出が1,218百万円及び長期借入れによる収入が900百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ4,342百万円増加し、7,911百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	62,019	49,532
受取手形及び売掛金	6,792	5,130
有価証券	—	5,168
たな卸資産	6,158	7,225
その他	5,884	6,975
貸倒引当金	△181	△170
流動資産合計	80,673	73,861
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ賃貸機器 (純額)	10,708	10,400
カラオケルーム及び飲食店舗設備 (純額)	18,456	19,561
土地	36,714	37,743
その他 (純額)	7,273	8,291
有形固定資産合計	73,153	75,996
無形固定資産		
のれん	1,321	4,625
その他	5,807	5,980
無形固定資産合計	7,129	10,606
投資その他の資産		
投資有価証券	4,959	5,135
敷金及び保証金	14,267	14,385
その他	6,808	6,905
貸倒引当金	△37	△45
投資その他の資産合計	25,998	26,381
固定資産合計	106,280	112,983
資産合計	186,954	186,845

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,343	3,857
短期借入金	14,163	14,377
1年内償還予定の社債	3,500	—
未払法人税等	3,206	4,136
賞与引当金	1,096	1,586
その他	12,881	10,787
流動負債合計	38,191	34,744
固定負債		
社債	6,500	6,500
長期借入金	13,268	13,030
役員退職慰労引当金	1,053	963
退職給付に係る負債	5,775	5,946
その他	3,096	3,133
固定負債合計	29,693	29,573
負債合計	67,884	64,318
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	4,003	4,003
利益剰余金	102,649	105,881
自己株式	△1,368	△1,308
株主資本合計	117,634	120,926
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,033	1,160
土地再評価差額金	△733	△733
為替換算調整勘定	80	64
退職給付に係る調整累計額	△440	△388
その他の包括利益累計額合計	△60	101
新株予約権	178	161
非支配株主持分	1,316	1,337
純資産合計	119,069	122,527
負債純資産合計	186,954	186,845

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	68,821	69,022
売上原価	42,237	41,544
売上総利益	26,583	27,478
販売費及び一般管理費	16,844	16,701
営業利益	9,739	10,776
営業外収益		
受取利息	231	25
受取協賛金	196	173
為替差益	—	235
その他	418	540
営業外収益合計	846	975
営業外費用		
支払利息	166	161
為替差損	320	—
その他	85	116
営業外費用合計	573	278
経常利益	10,012	11,474
特別利益		
固定資産売却益	4	97
固定資産譲受益	350	24
投資有価証券売却益	4	0
特別利益合計	360	121
特別損失		
固定資産処分損	148	71
減損損失	24	122
投資有価証券売却損	8	—
投資有価証券評価損	3,305	—
特別損失合計	3,487	193
税金等調整前四半期純利益	6,885	11,401
法人税、住民税及び事業税	2,857	3,997
法人税等調整額	△214	△1
法人税等合計	2,642	3,995
四半期純利益	4,242	7,405
非支配株主に帰属する四半期純利益	39	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,203	7,373

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	4,242	7,405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,583	126
為替換算調整勘定	△118	△15
退職給付に係る調整額	52	51
その他の包括利益合計	2,517	162
四半期包括利益	6,759	7,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,720	7,536
非支配株主に係る四半期包括利益	39	31

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,885	11,401
減価償却費	7,831	7,328
減損損失	24	122
賞与引当金の増減額(△は減少)	478	472
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△281	△89
受取利息及び受取配当金	△309	△78
支払利息	166	161
為替差損益(△は益)	308	△254
固定資産譲受益	△350	△24
投資有価証券売却損益(△は益)	4	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	3,305	—
固定資産処分損益(△は益)	143	△25
売上債権の増減額(△は増加)	917	1,677
たな卸資産の増減額(△は増加)	△584	△1,044
カラオケ貸貸機器の売上原価振替	68	11
仕入債務の増減額(△は減少)	351	472
未払金の増減額(△は減少)	△219	△1,431
その他	△986	△1,393
小計	17,756	17,308
利息及び配当金の受取額	444	107
利息の支払額	△118	△218
法人税等の支払額	△3,271	△2,939
その他	—	38
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,811	14,296
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△367	△567
定期預金の払戻による収入	53	573
有形固定資産の取得による支出	△11,859	△6,638
有形固定資産の売却による収入	12	144
無形固定資産の取得による支出	△1,812	△1,875
映像使用許諾権の取得による支出	△870	△714
投資有価証券の売却による収入	6,135	5
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△5,142
貸付けによる支出	△171	△285
貸付金の回収による収入	274	246
敷金及び保証金の差入による支出	△333	△154
敷金及び保証金の回収による収入	279	367
その他	△7	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,667	△13,951

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	130	72
長期借入れによる収入	1,485	900
長期借入金の返済による支出	△1,240	△1,218
社債の償還による支出	—	△3,500
配当金の支払額	△3,111	△3,141
自己株式の取得による支出	△810	△1,001
その他	△23	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,569	△7,911
現金及び現金同等物に係る換算差額	△394	254
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,179	△7,313
現金及び現金同等物の期首残高	52,247	61,254
現金及び現金同等物の四半期末残高	54,426	53,941

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	33,521	27,083	4,490	65,095	3,726	68,821	—	68,821
セグメント利益 (営業利益)	7,721	2,824	76	10,622	778	11,400	△1,661	9,739

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,661百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	32,107	28,907	4,022	65,038	3,984	69,022	—	69,022
セグメント利益又は 損失(△) (営業利益又は営業 損失(△))	7,888	3,566	△3	11,451	784	12,236	△1,459	10,776

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,459百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産の減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な異動)

「カラオケ・飲食店舗事業」において、株式会社Airsideの全株式を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において、3,603百万円であります。なお、取得原価の配分が完了していないため、のれんの増加額は暫定的に算定された金額であります。